

**着果量多い！
仕上げ摘果を急ごう！
仕上げ後は必ず見直しを！**

令和8年7月13日、15日に行ったりんご着果状況調査の結果、本年産りんごの着果率は各品種とも標準着果率をかなり上回っており、「成らせ過ぎ」の傾向でした。

「成らせ過ぎ」は、果実の肥大や品質に悪影響を及ぼすほか、来年産の花芽形成が抑制される要因となり、この時期の高温はさらに助長します。

気象台発表の1ヶ月予報（7月18日～8月17日）によると、気温は高い見込みなので、農作業中の熱中症に十分注意し、次の点に留意して作業を進めてください。

1 適正着果

- (1) 仕上げ摘果を終えていない園地では、果実品質向上や充実した花芽の確保のため、速やかに適正な着果量とする。
- (2) 仕上げ後も再度点検し、適正な着果量になるまで見直し摘果を徹底する。
- (3) 病虫害被害果や、さび果等障害果も摘果する。

2 高温対策

日焼け果の発生防止に向け、早い時期からの強い葉摘みは避けるほか、高温時の徒長枝整理、支柱入れ、枝つりなどは控える。

<参考> りんご着果状況調査結果（県内72地点）

(単位：%)

品 種	着果率	障害果率	健全果率	標 準 着果率
	本 年	本 年	本 年	
ふ じ	35.9	0.6	35.3	25.0(4頂芽に1果)
つがる	40.1	4.1	36.1	28.6(3.5頂芽に1果)
ジョナゴールド	38.8	0.8	38.0	28.6(3.5頂芽に1果)
王 林	38.7	0.9	37.9	25.0(4頂芽に1果)
ト キ (参考)	34.4	1.2	33.2	25.0(4頂芽に1果)

※数値は四捨五入しているため、障害果率と健全果率の合計は着果率と一致しない。

注) 標準着果率：県が基準とする適正な着果程度

障 害 果 率：さび果、キズ果等

連 絡 先：りんご果樹課生産振興グループ
電話番号：017-722-1111 代表
内線5144、5149
017-734-9492 直通